

# 詰連珠ドリル

## 【中級編①】

サンプル

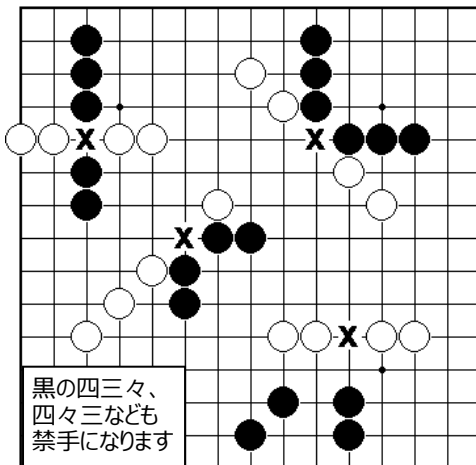
出題：河村典彦九段

2023年12月1日発行

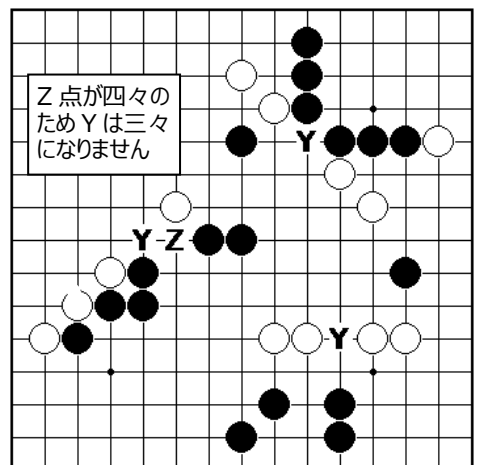
## 【連珠のルール】

- 連珠盤（15×15）を使います
- 黒石と白石を使います
- 黒が先手、白が後手で交互に打ちます
- 黒は最初に中央の「天元」に打ちます
- 縦、横、斜めのいずれかに早く「五連」を並べた方が勝ちです
- 黒にのみ、三々、四々、長連の禁手があります  
白は黒に禁手を打たせても勝ちです

【禁手の例】



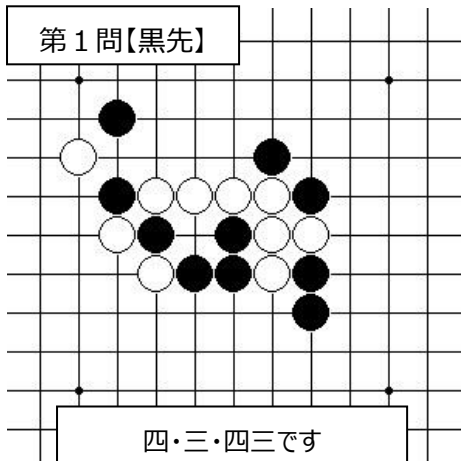
【禁手にならない例】



詰連珠ドリル、今度は中級編を 100 問作成しました。初級編と比べると内容はぐっと難しくなっています。基本的には三・三・四三で勝つ問題ですが、防ぐ側のことも考えることが多くなるため、深い読みが必要となってきます。この問題が解けるようになれば、実戦で役に立ようになります。勝ちに到達するまでの順が長く、三の順番が問題になってくる場合が多いので、読みの訓練に役に立ちます。間違えた問題は、繰り返し解いていただくことをお勧めします。

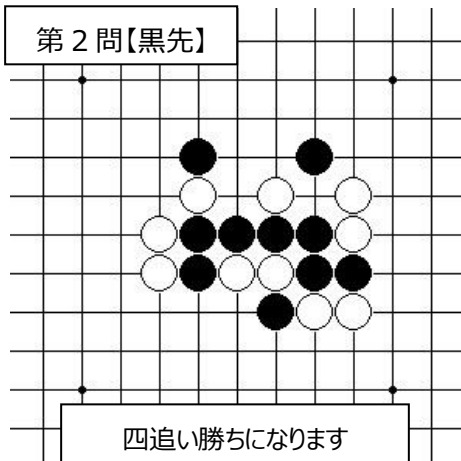
今回も黒先問題を 70 問、白先問題を 30 問合計 100 問ご用意しました。各問題にヒント、解答にはちょっとした解説をつけていますので、出題者の意図をぜひ理解してください。間違えた時は、どこの部分が間違っていたか理解することで上達します。では、詰連珠の世界、楽しんでください！

第 1 問【黒先】



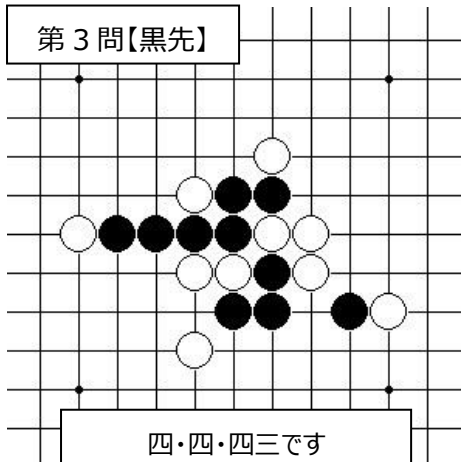
四・三・四三です

第 2 問【黒先】



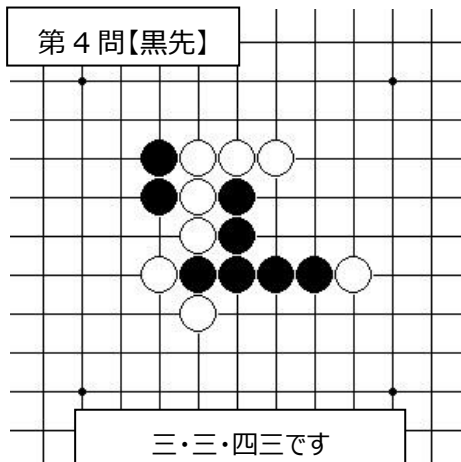
四追い勝ちになります

第 3 問【黒先】



四・四・四三です

第 4 問【黒先】



三・三・四三です

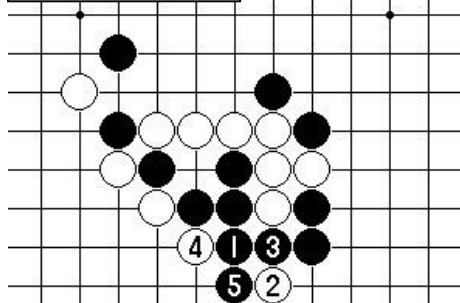
## 詰連珠を解くコツ

- ・四ができる場所に注目する
- ・ノリ手（止めた手が四や三になる手）や禁手に注意する
- ・トビ四、トビ三、斜めの筋は見づらいので特に意識して見る
- ・わかったと思っても、頭の中で再度確認する

中級編は結構難しい問題が多いですが、勝ち筋をくまなく探して手順を考えると勝ちが見えてきます。ただし、ノリ手には注意が必要です。斜めのノリ手などは見えにくくなっていますので、見落とさないように。間違えた問題はぜひ再度解いてみてください。

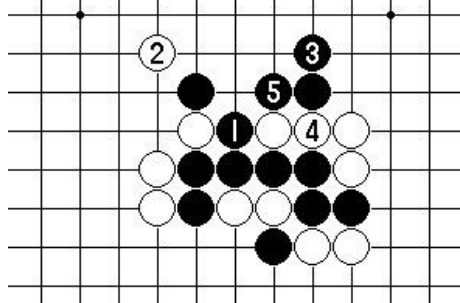
### ● 解答

第 1 問【黒先】



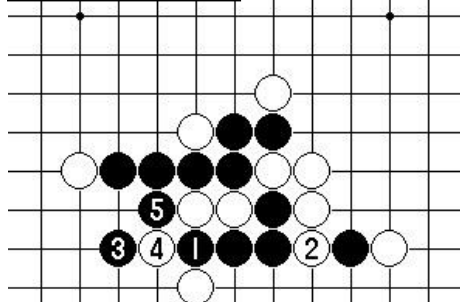
手順に引けば勝てます

第 2 問【黒先】



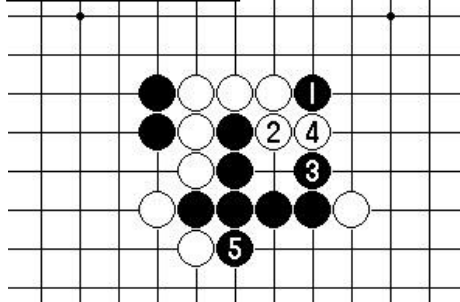
黒 1 を 3 でも正解です

第 3 問【黒先】



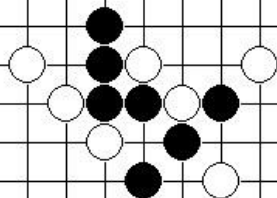
黒 3 が打てるかがポイントです

第 4 問【黒先】



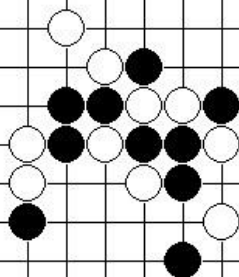
黒 1 が必争点になっています。  
手順に黒 3 と引き、黒 5 で四三です

第5問【黒先】



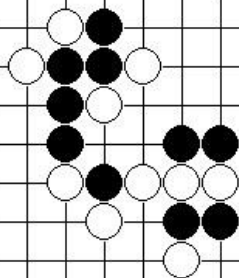
両ミセでは失敗します

第6問【黒先】



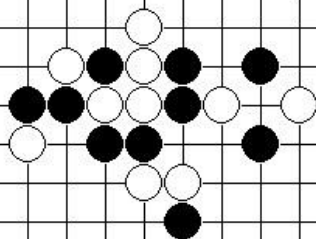
初手の三が重要です

第7問【黒先】



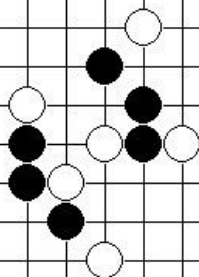
トビ三後四追いです

第8問【黒先】



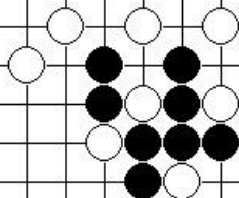
三を引いて様子を見ます

第9問【黒先】



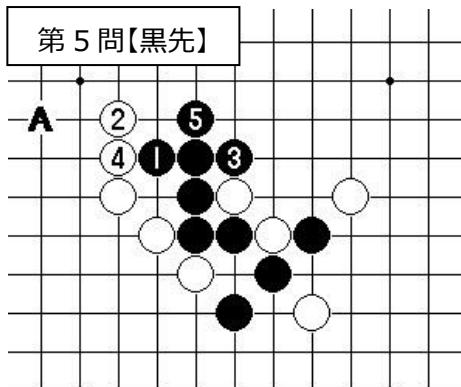
三の手順が大切

第10問【黒先】



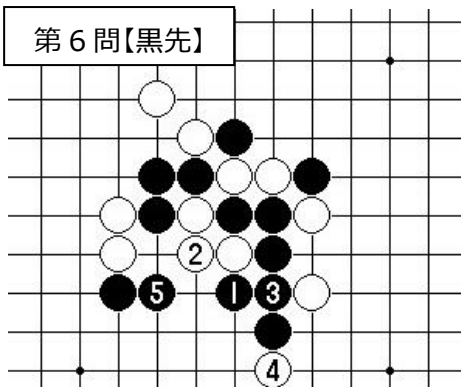
四三々を利用して三々を打てるようにします

第5問【黒先】



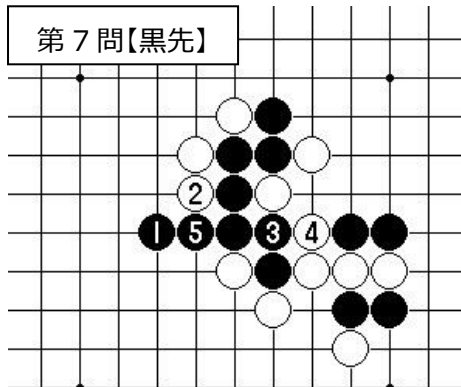
黒1で3は白Aに打たれます

第6問【黒先】



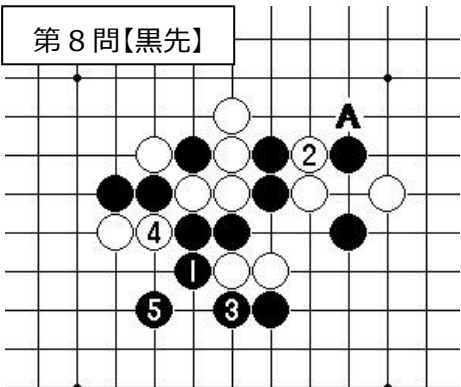
黒1で5から打つとノ手です

第7問【黒先】



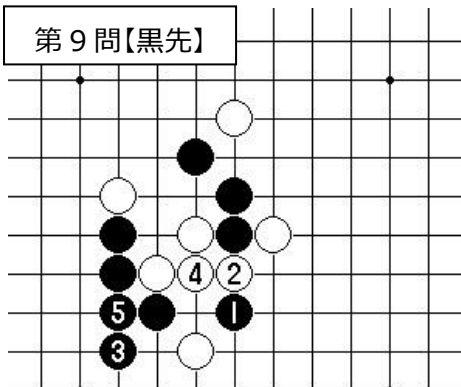
黒1から打つのが好手順です

第8問【黒先】



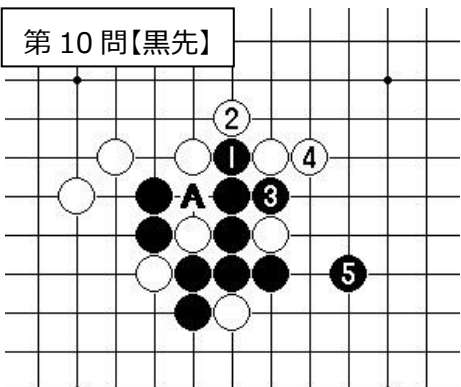
白2を5は黒Aで四三です

第9問【黒先】



黒1で3、黒3で5に打つとノ手です

第10問【黒先】



3点は三々ですが、黒1と打つことによりA点が四三々となるため黒3と打てます